

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2021.12.19)

文・写真：武田、山國

日時：2021(令和3)年 12月 19日(日) 9:30~15:00

気象：晴(気温 1~3℃)

活動エリア：44林班は-02

活動内容：地域環境保全(里山林保全)

参加者(会員)：猪川 誠、内海宏一(PM)、大本孝子、斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、
武田壽夫、山田真也、宮本 廣、山 國 会員 11名

<山岳修験道場本山寺の師走>

◆勧請掛の掛け替えはその一つ。古来 12月 25日だったが近年は直前の日曜日に行われている。この日、偶々それを目にする幸運に預かった。足元の焚火は古い掛縄で、掛縄は薬師如来 12神将を象るので、その火は一年の厄祓いのようにも見える。焰からは暖か味も伝わってくる。これも森林づくりのご利益?。さて、今日は引き続き 44林班は-02の天然林の整備。面積を広げたい。

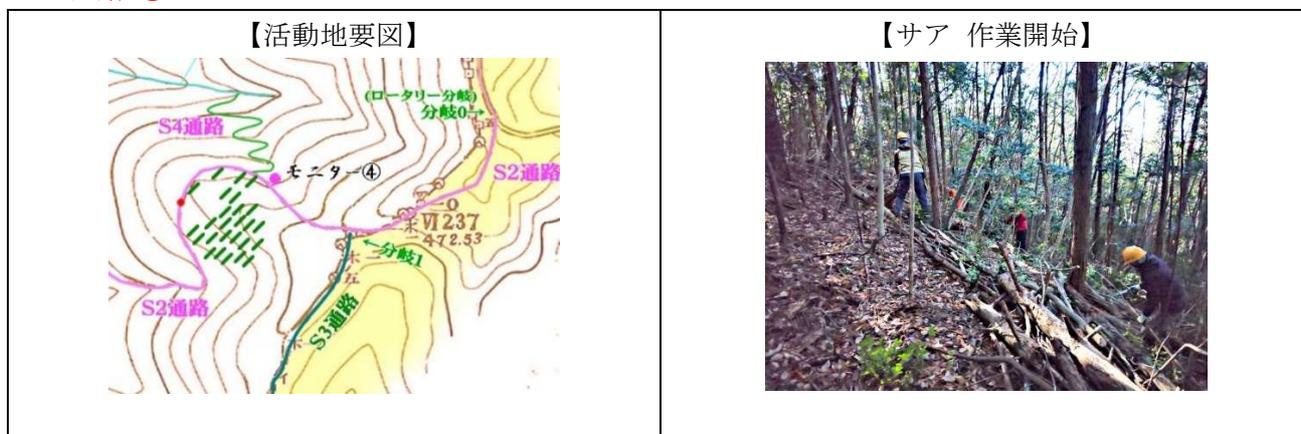


新しい掛け縄を待つ本山寺

<今日の成果>

枯損木、倒木の除伐はチェーンソー二台の役回り。一見豪快だが慎重に、神経を使う。一方、鋸は主に伸び過ぎた常緑広葉樹を間引くように除伐し、少しでも陽当たりの改善を図る。ただ、高く繁った枝葉が架かって中々倒れてくれないのは「難儀」の一言。

<写真編①>



<写真編②>

【伐倒方向を選び掛り木を避ける】



【足元の林床整備】



【枯損木伐倒中(チェーンソー)】



【切り株(変哲もないが、苦勞の塊り)】



【作業前の一情景】



【左の作業後】

